



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 天昇電気工業株式会社
 コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,728	4.8	871	15.3	862	9.7	577	23.5
2019年3月期第3四半期	13,103	13.5	755	21.5	786	16.2	467	26.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 556百万円 (39.9%) 2019年3月期第3四半期 397百万円 (38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	34.40	
2019年3月期第3四半期	28.15	

2019年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	16,870	6,992	38.8	384.60
2019年3月期	16,077	6,305	36.6	354.29

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,543百万円 2019年3月期 5,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		3.00	3.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	1.0	1,000	5.4	960	1.7	630	6.9	37.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	17,014,000 株	2019年3月期	17,014,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	85 株	2019年3月期	417,836 株
------------	------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	16,775,403 株	2019年3月期3Q	16,596,164 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P8
(セグメント情報等)	P8
(企業結合等関係)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き政府の各種政策効果により雇用・所得環境の改善が期待されますが、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き等の海外経済の影響に加え、消費税率引き上げ後の消費マインドの動向等に留意する必要があります、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き売上高拡大に向け営業強化、既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓を図るとともに、新技術・新製品の開発強化、工程改善や生産効率の向上及び原価低減に積極的に取り組んでまいりました。

また、当社は2019年8月20日開催の取締役会において、タキロンシーアイ株式会社に対し第三者割当による自己株式の処分を実施することを決議し、2019年9月5日に自己株式処分が完了いたしました。

なお、2018年6月29日に行われた天昇アメリカコーポレーションとの企業結合について、前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は137億28百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。損益面におきましては、生産設備の改善・更新による生産性の向上、徹底した工程改善、効率化、省力化等の原価低減を継続し、営業利益は8億71百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。営業外費用に支払利息、為替差損を計上したこと等により経常利益は8億62百万円（前年同四半期比9.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億77百万円（前年同四半期比23.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

日本成形関連事業

日本成形関連事業では、引き続き自動車関連部品の売上が好調に推移いたしました。この結果、売上高は119億1百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益につきましては、製造経費の減少等により5億70百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、物流産業資材及び機構品部品を中心とした売上拡大に向け注力した結果、売上高は3億23百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。工場経費を中心とした徹底的な原価削減を進め、セグメント利益は34百万円（前年同四半期比39.1%増）となりました。

アメリカ成形関連事業

アメリカ成形関連事業では、受注拡大に向け営業活動に注力した結果、テレビ部品、玩具、家具等に加え、医療機器関連の部品も好調に推移し、売上高は12億86百万円（前年同四半期比63.0%増）、セグメント利益は98百万円（前年同四半期比149.2%増）となりました。

不動産関連事業

不動産関連事業では、相模原市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は2億17百万円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益は1億69百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、168億70百万円（前連結会計年度末比7億93百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金31億54百万円（前連結会計年度末比1億80百万円増）、受取手形及び売掛金が25億64百万円（前連結会計年度末比2億6百万円減）、電子記録債権10億71百万円（前連結会計年度末比2億66百万円減）等により80億95百万円（前連結会計年度末比3億44百万円減）となりました。

固定資産は、有形固定資産81億66百万円（前連結会計年度末比11億52百万円増）、投資その他の資産4億75百万円（前連結会計年度末比8百万円減）等により87億75百万円（前連結会計年度末比11億37百万円増）となりました。

②負債

負債合計は、98億78百万円（前連結会計年度末比1億6百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金18億93百万円（前連結会計年度末比33百万円減）、電子記録債務25億80百万円（前連結会計年度末比77百万円減）、営業外電子記録債務3億42百万円（前連結会計年度末比1億55百万円増）等により71億98百万円（前連結会計年度末比1百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金20億61百万円（前連結会計年度末比2億74百万円増）等により、26億79百万円（前連結会計年度末比1億5百万円増）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の変動、自己株式の処分を実施したこと等により、69億92百万円（前連結会計年度末比6億86百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績につきましては、2019年5月17日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,974	3,154
受取手形及び売掛金	2,770	2,564
電子記録債権	1,337	1,071
製品	470	439
原材料	599	595
仕掛品	88	73
その他	199	197
流動資産合計	8,440	8,095
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,321	2,188
土地	2,908	2,898
その他(純額)	1,783	3,079
有形固定資産合計	7,013	8,166
無形固定資産		
のれん	81	68
その他	58	64
無形固定資産合計	139	133
投資その他の資産		
投資有価証券	245	263
その他	266	233
貸倒引当金	△28	△22
投資その他の資産合計	484	475
固定資産合計	7,637	8,775
資産合計	16,077	16,870
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,927	1,893
電子記録債務	2,658	2,580
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	885	894
未払法人税等	153	103
賞与引当金	191	97
設備関係支払手形	48	91
営業外電子記録債務	186	342
その他	945	995
流動負債合計	7,197	7,198
固定負債		
長期借入金	1,787	2,061
資産除去債務	21	21
その他	765	596
固定負債合計	2,574	2,679
負債合計	9,771	9,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	1,029
利益剰余金	3,666	4,193
自己株式	△42	△0
株主資本合計	5,729	6,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	107
為替換算調整勘定	56	4
その他の包括利益累計額合計	150	112
非支配株主持分	426	449
純資産合計	6,305	6,992
負債純資産合計	16,077	16,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	13,103	13,728
売上原価	10,584	11,046
売上総利益	2,519	2,682
販売費及び一般管理費	1,764	1,810
営業利益	755	871
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	8	9
為替差益	36	—
その他	19	11
営業外収益合計	70	27
営業外費用		
支払利息	28	24
為替差損	—	10
持分法による投資損失	9	—
その他	2	1
営業外費用合計	39	36
経常利益	786	862
特別利益		
固定資産売却益	1	0
国庫補助金	85	—
特別利益合計	87	0
特別損失		
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	2	—
固定資産圧縮損	79	—
段階取得に係る差損	58	—
特別損失合計	146	0
税金等調整前四半期純利益	727	862
法人税等	250	255
四半期純利益	476	607
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	467	577

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	476	607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	14
為替換算調整勘定	△82	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	52	—
その他の包括利益合計	△79	△51
四半期包括利益	397	556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394	538
非支配株主に係る四半期包括利益	3	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,795	292	789	227	13,103	—	13,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	37	0	—	53	△53	—
計	11,811	329	789	227	13,157	△53	13,103
セグメント利益	515	24	39	176	755	—	755

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去53百万円であります。

2 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期末において、天昇アメリカコーポレーションの株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アメリカ成形関連事業」において2,003百万円となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アメリカ成形関連事業」において、天昇アメリカコーポレーション株式追加取得に伴い発生したのれん95百万円を計上をしております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,901	323	1,286	217	13,728	—	13,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	16	—	—	42	△42	—
計	11,927	339	1,286	217	13,771	△42	13,728
セグメント利益	570	34	98	169	871	—	871

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去42百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2018年6月29日に行われた天昇アメリカコーポレーションとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、主にもれん償却額が32百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ46百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益が35百万円増加しております。